



いぶき 第80号
 発行者 吉野 公博
 編集 患者サーベイス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<http://www.kagawah.johas.go.jp>

地域がん診療連携拠点病院(高度型)の指定について

副院長 國土 泰孝



香川労災病院が『高度型地域がん診療連携拠点病院』の指定をうけました。

この度、2021年4月『高度型地域がん診療連携拠点病院』の指定をうけました。全国に405か所のがん診療連携拠点病院が整備されていますが、その中でも、地域でトップのがん治療成績を収める病院を高度型地域がん診療連携拠点病院として2019年から厚生労働省は指定し、今回までに51施設が指定されています。

2006年より当院は地域がん診療連携拠点病院に指定され、地域の皆様に質の高いがん医療を提供してまいりましたが、これまで実績や様々な取り組みが高く評価され、厚生労働省より『高度型地域がん診療連携拠点病院』に指定されました。

高度型地域がん診療連携拠点病院の特徴

高度ながん医療

高度型地域がん診療連携拠点病院は、手術、抗がん剤治療などの高度ながん診療実績が各地域(2次医療圏)において最も優れていることが必要です。当院では新規院内がん登録数約1,300件、がん治療手術件数年間約600件、抗がん剤治療件数約1,700件、放射線治療300件以上などの実績があり、がんの診療は西部医療圏において最も優れています。

香川労災病院では、最新の手術手技、最新のカメラを用いた高精細手術、ICG蛍光法、ダヴィンチ手術ロボットなどを整備してきました。これにより、精緻で患者様に優しい手術や未来型の手術療法を行うことが可能となっています。

また、新規抗がん剤、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬など最新の薬物療法はどの薬剤も早期に導入してきました。2013年に整備した救急棟2階の外來化学療法室では医師

の指示により、がん薬物療法認定薬剤師2名、がん化学療法認定看護師3人が中心となり、全スタッフが一丸となって副作用対策などのサポートもしています。

放射線治療に関しては放射線治療専門医が在籍し、高度で精密な放射線治療が提供できる体制も整えています。新棟を建築し、2023年春には放射線治療を中断することなく最新の治療器への更新を行う予定です。

これらの薬物や手術や放射線を組み合わせた集学的治療を行い、患者様にベストな治療を提供できるようにしております。今後はゲノム医療にも取り組むため体制を整えています。

中西讃のがん治療の中心として手術・放射線・抗がん剤の3本柱をこれまで以上に充実させることは当院の使命と考えます。

緩和ケアセンター

がんになった場合、さまざまな痛みがあるといわれています。これまでも緩和ケアチームへの患者様の紹介件数は270件以上で、緩和ケアチームはがん患者様やその家族の皆さんに診断時から迅速かつ適切な緩和ケアを切れ目なく提供してきました。今回院内に緩和ケアセンターを整備し、香川県、各医師会、薬剤師会など外部の機関と連携を

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
安全で安心のよりよい
医療と看護を提供します

開始しました。香川労災病院緩和ケア検討会を開催し、患者様やご家族の痛みや困ったことの解決、生活の質の担保などのために、地域の病院、診療所、訪問看護ステーション、調剤薬局等と連携していきます。

がん相談支援センター

がん相談支援部門に、医療者を配置し、がんと診断、治療などで患者様の不安、心配ごとのへの対応能力を高めました。また入院時や手術、抗がん剤、放射線など治療開始時に生活のしやすさの質問票を用いて、からだのつらさ、こころのつらさをスクリーニングし、早期に的確に皆様の相談のついでです。全体では2020年には約1,800件の相談があり、がんの治療、抗がん剤副作用、緩和ケア、医療費などの相談が寄せられています。

その他

がんの早期発見のため、年間1,800件以上の入

間ドックも行っていきます。早期発見と精密な診断のため、一昨年にはMRI、昨年はCTを最新の装置に更新しました。また、がんの治療と就労の両立支援にも取り組み、産業医の先生の研修会や会社との相談窓口等に人材を派遣しています。またハローワークと連携し、再就職などの支援もしています。

これから

これからのコロナは変異株の拡大などで、先は見通せませんが、香川労災病院

は地域のなかで、患者様・家族の安心・安全を第一に考え、香川の総合的ながん治療の基幹病院としてさらなる飛躍を図っていききたいと職員一同考えております。最後に令和3年4月1日四国新聞に掲載された吉野院長のインタビューより。『高度型の指定はこれまで積み上げてきた実績や信頼を評価していただいたいということ。香川労災病院は今後も地域の中核病院の役割を果たし、機器や人材の充実を図っていきます。』

直腸癌に対するロボット支援手術

外科部長 村岡 篤

我が国の食生活の変化により、大腸癌、特に直腸癌の発症率が非常に高くなっています。直腸癌という、人工肛門をイメージされると思います。肛門のすぐそばに癌ができた場合は、確かに、人工肛門となりますが、腹腔鏡手術の進歩によって、肛門温存率が向上し、ロボット支援手術が導入され、さらに肛門温存が可能となつていきます。当院も昨年からこのロボット手術(ダヴィンチ®)を直腸癌に導入しました。

連想されがちですが、ロボットを使って人間が手術を行います。腹腔鏡手術とは異なり、鉗子(はさみ、臓器を持つ道具など)の先端が自由に手先のように動き、3D高解像度、立体観察での非常に繊細な手術で、出血量減少、がんの根治性と排便・排尿・性功能など術後機能温存の両立が可能となっております。早期に発見されれば、直腸癌にかかられても人工肛門もなく、小さな傷で治療できるかもしれません。現在、全国で人工肛門の手術が増加しています。これ

「軽度認知障害(MCI)」を知っていますか?

認知症看護認定看護師 吉川 明美

物忘れが目立つようになり、認知症かもしれないと不安に感じていませんか? アルツハイマー型認知症は突然起こるのではなく、物忘れや記憶障害から徐々に一人て生活することが難しくなっています。アルツハイマー型認知症になる一歩手前の予備軍の状態を

軽度認知障害(MCI: Mild Cognitive Impairment)といっています。物忘れがひどくても、日常生活に支障をきたさない程度であれば、軽度認知障害の可能性があります。軽度認知障害と診断された人のうち、年間10%が認知症に進行するという報告があります。一方

- 正常なレベルに回復する人もいます。
 - 「約束をよく忘れるようになった」
 - 「探しものをするのが増えた」
 - 「身だしなみに無頓着になった」
 - 「趣味への興味がなくなった」
- このような症状がある方は、食習慣の見直しや定期的な運動、楽しみながら認知トレーニングを行うなど認知機能の改善に取り組むことをお勧めします。

部署紹介「東3病棟」

東3病棟師長 平井 有美

は、コロナウイルスの蔓延のため、多少の肛門出血があっても、「痔」と思い、医療機関を受診されず、進行癌で発見されるためです。直腸癌の発生部位、進行度などにより、治療法は変わりますが、早期に診断、治療を行うことが大切です。最善の治療を地域の皆さんに施せるよう、スタッフ一同、日々研鑽しておりますので、便に血が混じったりすれば、遠慮なさらず、お気軽に相談ください。

東3病棟は、泌尿器科と内科(主に腎臓・代謝系)の病棟です。泌尿器科では前立腺癌、膀胱癌、尿管結石などの検査や手術(約40件/月)、化学療法、放射線療法など様々な病期に対応しています。前立腺癌に対しては2019年6月より手術支援ロボット「ダヴィンチ」が導入され、術後翌日から動けるようになり術後の回復が早くなっています。腎臓・代謝系では、糖尿病教育入院、慢性腎不全やネフローゼ症候群などの治療、看護や透析導入を行っています。

経験豊富なスタッフが多く、毎日カンファレンスを行い、患者さんやご家族の思いに寄り添いその人らしい選択ができるよう共に考えて、支えることを大切にしています。医師、薬剤師、認定看護師、MSW、リハビリセラピストなどの職種と連携し、少しでも患者さんやご家族が安全安心な療養生活を送れるように取り組んでいます。チームワークもよく、笑顔と自己研鑽を忘れずに日々頑張っている病棟です。



連載 6

「演奏家として」ドイツ編②

ピアニスト 田村 真穂



田村真穂さんは丸亀市出身で、パリ・エコールノルマル音楽院を修了された後、オルデンブルグ州立歌劇場でヨーロッパデビュー。天性の豊かな音楽性で聴衆を魅了し、現在も国内外で幅広く活躍されています。

ニードーザクセン州で最も古い伝統と格式あるオルデンブルク州立歌劇場でのコンサート当日、開演間際。舞台袖からふと覗きました。客席にはぎっしりのドイツの人々。人口16万の市民全員がやって来たかのよう。見れば見るほど耳が肥えていそうです。私の緊張はピーク。こんな恐ろしい思いはもう嫌、ピアニストなんかやめてしまいたい。容赦なく鳴る拍手。「トイトイトイ」(欧の魔除けの言葉)と声を掛け合いステージへ。1曲目はシューマンのピアノ五重奏。弾き始めると雑念が消えた。深い音色が豊かに響くヴァイオリン、正確で柔らかなヴィオラ、力強く優しいチェロが情熱的に語りかけてきます。卓越した表現力を持つ真の音楽家達との一体感。終演まで感覚は研ぎ澄まされ「無」

になったような感じ。全ての演奏を終え、気が付くと割れるような拍手に包まれていました。



オルデンブルグ州立歌劇場

翌朝、呼び鈴が鳴り「真穂が激賞されている！見て」新聞を手に隣のユルゲン夫妻が。コンサートの様子が新聞各紙に取り上げられ「オルデンブルグ州立歌劇場が招いた日本人ピアニスト田村真穂は、神秘的な感性を持って彼らと調和し、客席を感動の渦に巻き込んだ」とあります。彼らはそれを自分のことのように大喜びし、私に3つの素敵な贈り物をくれました。



その①「ドイツ警察の白バイに乗る」ユルゲンは同僚の屈強な警察官たちに私を紹介。州警察署内を案



その③「馬に乗る」彼

内し大きな白バイに跨らせてくれました。彼らは、私の足が短すぎて地面に着かないと笑い「なあに、後2〜3年したら伸びて届くようになるさ」私が成長する？小学生くらいの子供だと思われたことが判明。年齢を伝えたら一同驚愕。シヨックなのは私。
その②「オランダにニシンのサンドイッチを食べに行く」ユルゲンの巨大なバイクの後ろに乗り、戦時下ヒトラーが滑走路にも使えるようにと頑丈に作った速度無制限のアウトバーンを約200km/hで激走。オランダ国境近くの運河のほとりでニシンのサンドイッチを食べました。ヨーロッパの保存食、発酵熟成されたニシンは見た感じ生臭そうなのに新鮮なお刺身のように一切の臭みが無く、爽やかな柑橘系の香りを持つ「ヘーフェ・ヴァイツェン」という酵母入りの白濁したビールと相性抜群。



らの娘チアアナが馬術を学ぶ、森と畑に囲まれた広大な厩舎へ。馬術大国ドイツの子供は、幼い頃から雄大な自然の中で馬と触れ合い心身を鍛え学び成長します。私？竹馬なら得意だけど乗馬は初。ドイツの豊かな森を大きくて温かな優しい馬とゆっくり散歩。ああ父母や妹も一緒だったらなあ。

不安な異国の地、プロレスラーのような警察官(本当は柔道家)一家に家族のようにだいじにして貰って、歌劇場での仕事など演奏の機会もたくさん得られ、充実した幸せな毎日を送っていたある日のこと、電話が鳴りました。日本からです。今度来日する「ベルリン国立歌劇場オペラ」の字幕翻訳をやってみないか？

連載⑦へ続く

新任医師紹介



病理診断科部長
みぞぶち こういち
溝渕 光一

新任医師の溝渕と申します。香川労災病院には、以前勤務していましたので、出戻りのかたちとなります。専門は病理診断で、ふだんは患者のみなさまとお会いすることはありませんが、病気を診断したり、原因を調べたりする仕事をしています。

丸亀市出身です。サイクリングが趣味で、休日は満濃や綾川方面に出かけたり、近辺の里山に登ったりしています。よろしくお願ひします。



脳神経外科副部長
うまこし みちあり
馬越 通有

はじめまして。脳神経外科の馬越通有と申します。岡山県倉敷市出身です。近畿大学医学部卒業後は、岡山市立市民病院で初期研修を終え、岡山大学病院、岩国医療センターなどで後期

研修を行いました。大学院に進学後は、脳卒中後うつ病の研究を行っており、1年間勤務し、今年1月から香川労災病院に赴任致しました。

学生時代はゴルフを行っておりましたが、現在の趣味はサウナです。「サウナ↓水風呂↓外気浴」このサイクルを3、4回繰り返すことで、精神と身体の調和を整え、自らがヒトであることを確認致しております。

脳神経外科では脳卒中(脳出血・脳梗塞)や頭部外傷、脳腫瘍だけでなく、脳血管内治療・脊椎脊髄疾患なども診させて頂いております。どんなささいな事でも結構ですのでお気軽にご相談下さい。今後とも宜しくお願ひ致します。



麻酔科副部長
ごうだ けいすけ
合田 慶介

4月に着任しました、麻酔科の合田と申します。観音寺市出身です。香川、岡山、高知を経て、今回7年ぶりに地元香川で働けることを嬉しく思っております。麻酔・集中治療を通じて、患者さんの周術期の安全管理に努めさせていただきます。他科の先生方やスタッフの皆様と協力して診療を

進められるよう、早く新しい環境に溶け込めればと思います。趣味はキャンプ、特にソロが好きで、独り山奥で焚火を眺めています。どうぞよろしくお願ひします。



内科医師
そね なおひこ
曾根 尚彦

この度令和3年4月より内科医師として赴任いたしました。曾根尚彦と申します。昨年度までは岡山県にある心臓病センター榊原病院にて循環器内科医として勤務しておりました。

今年で医師10年目となり、これまでずっと循環器内科を専攻としておりましたが、今回内科全般、特に糖尿病や内分泌、腎疾患などをメインに診療に当たらせていただくこととなります。

神戸大学医学部出身でその後も神戸で6年、岡山で3年間と他県での生活が続きました。もともと幼稚園〜高校時代まで約15年程を丸亀市で過ごしております。強い愛着のあるこの土地で診療に携わることができ、非常に光栄に思います。至らない点もあるかとは思いますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



内科医師
すえつぐ ふみゆき
末次 史幸

令和3年4月より香川労災病院へ赴任して参りました。消化器内科の末次史幸と申します。これまでは香川大学医学部付属病院や屋島総合病院に勤務してきました。出身は北海道旭川市出身ですが、大学から香川県に引越してきました。大学生活の中で香川県に居心地の良さを感じ、そのまま香川県で働かせていただいております。



内科医師
やまだ まなぶ
山田 学

はじめまして。令和3年4月1日より消化器内科に赴任致しました山田学と申します。香川県済生会病院、香川大学病院で勤務し現在に至ります。香川労災病院は数多くの名だたる諸先輩方が勤務されていた病院でもあり、僕もここで医療に従事させていただけることを光栄に感じています。患者様に優しく寄り添い、少しでも患者様が幸せになれる

ような医療を提供できるように心がけ日々精進しております。趣味はサッカーやビーチで過ごすことが好きなので夏はちよっぴり肌が黒くなるのがあります。が、あたたかいかい目で見守っていただければ幸いです。消化器症状はもちろんの事、なにか気になることがあれば何でも聞いてください。地域の皆様の支えになれるよう頑張りますので何卒よろしくお願ひいたします。



循環器内科医師
いわの たかゆき
岩野 貴之

今年度から赴任しました、循環器内科の岩野貴之と申します。出身は善通寺市で、岡山・広島県で勤務を行いました。趣味は、ゴルフとドライブと旅行です。ゴルフ場に行くときはゴルフも楽しみですが、ゴルフ場までの山道の運転も楽しみなから行っています。早くコロナが落ち着き、旅行できる日がくるのを楽しみにしております。地域のみなさまのお役に立てるよう精進いたしますので、よろしくお願ひ致します。





外科医師
おおたにともこ
大谷 朋子

皆さま、初めまして。4月より外科に着任いたしました大谷朋子と申します。

平成23年に香川大学を卒業後、香川県立中央病院で初期・後期研修を行い、その後は国立がん研究センター中央病院を経て岡山大学大学院に入りました。半年の病棟業務の後に、2年半の研究を終え、香川労災病院で勤務させていただきましたこととなりまして、丸亀市出身でもあり、地元の方達の役に立てるよう頑張ります。今後とも何卒よろしくお願ひいたします。



整形外科医師
かねこみちや
金子 倫也

初めまして、金子倫也と申します。高知県高知市出身です。前任は、国立岡山医療センター、愛知県トヨタ記念病院などで勤務し、人工関節や骨折などの外傷の治療に従事して参りました。休日は、野球やランニング、筋力トレーニングを

楽しんでいきます。1日も早く、中讃の地域医療に貢献出来るように精一杯努めて参りますので、宜しくお願ひいたします。



整形外科医師
うづともき
宇津 朋生

皆様初めまして。宇津朋生(うづともき)と申します。今年度から整形外科で勤務させて頂いております。出身は大阪で福岡の産業医科大学を卒業後、北九州市の病院を中心に勤務しておりました。

現在医師としては7年目でまだまだ未熟ではありますが、一生懸命頑張らせて頂きます。今までは整形外科として全般的に学んで参りましたが、外傷・手外科等を勉強できればと考えております。

今回はご縁があり香川労災で勤務させて頂く事となりました。四国は初めてで、また讃岐うどんを食べた経験がほとんどなく皆様のおすすめの店を教えてくださいれば幸いです。学生時代はサッカー部に所属しており社会人になってからも時折フットサル等をしていたのですが、最近では全く動いておらず危機感

を少し覚えていきます。今後は丸亀城ランニングや登山等を行おうと考えています。簡単ではございますが以上でご挨拶とさせていただきます。皆様にはご迷惑をおかけする事になるかとは思いますが、お役に立てるよう精進して参りますのでよろしくお願ひいたします。



整形外科医師
かじきりょうたろう
梶木 遼太郎

はじめまして。整形外科の梶木遼太郎と申します。生まれも育ちも岡山で、この度初めて地元を離れて勤務することとなりました。わくわくドキドキです。食べたり飲んだりが好きなので、丸亀のおすすめのお店があつたらぜひ教えて下さい。小さい頃から剣道をしてきました。マニアックな剣道談義ができる方お待ちしています(笑)。患者様に寄り添った医療を心がけて診療してまいります。何卒よろしくお願ひいたします。



はじめまして。令和3年4月より産婦人科へ赴任しました清時と申します。福岡県出身で、岡山大学を卒業したのち、岡山県や兵庫県複数の病院で勤務してまいりましたが、香川県の生活は初めてです。昨年度までは大阪の大阪中央病



産婦人科医師
きよときたかのり
清時 毅典

はじめまして。この度4月より香川県立中央病院から労災病院へ赴任することとなりました三浦佑樹と申します。休日は、妻と娘と近くの公園へ出かけたりなどして過ごしております。形成外科では、皮膚腫瘍の切除から眼瞼下垂、その他傷の治療、悪性腫瘍の再建、リンパ浮腫など様々な治療を行っております。少しでも皆様のお役に立てればと考えておりますので気軽に相談いただければと思います。よろしくお願ひいたします。



形成外科医師
みつうらゆうき
三浦 佑樹

院というところで腹腔鏡手術の修練を行っておりました。患者さんへの負担の少ない腹腔鏡手術を香川でも行い、少しでも患者様のためになる治療を行いたいと思っております。何卒よろしくお願ひいたします。



耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師
みやもとしょうたろう
宮本 翔太郎

このたび3月より耳鼻咽喉科・頭頸部外科へ着任いたしました、宮本翔太郎と申します。出身は鳥取県鳥取市で、本年2月までは岡山大学病院で勤務しておりました。四国は初めてになるので、香川県の周辺は丸亀城の城下町であり、実家が鳥取城(丸亀城と違い城跡しかございせんが)の近くだったこともあり勝手に親近感を覚えております。若輩ではありますが、1日も早く労災病院そして中讃地域の戦力になれるよう、研鑽を続けて参ります。耳鼻のどの症状でお困りの方はお気軽にご相談ください。よろしくお願ひ申し上げます。

初めまして、内科の大丸隼人と申します。昨年度は観音寺市の三豊総合病院で勤務しておりました。出身地は岡山市です。出身大学は岡山大学です。

新型コロナウイルス感染症の影響でまだまだ大変な生活が続くとは思いますが、仕事も頑張り、丸亀市での生活も楽しめたらと思います。よろしく願います。



循環器内科医師
おおまる はやと
大丸 隼人

4月から2度目の赴任となりました。麻酔科の眞鍋と申します。今まで香川大学医学部附属病院や四国こどもとおとなの医療センターで勤務経験があり麻酔・救急・集中治療を専門としております。

至らない点があるとおもいますが、香川・丸亀の医療に貢献できるよう精一杯つとめさせていただきます。宜しくお願いします。



麻酔科医師
まなべ ありさ
眞鍋 亜里沙

はじめまして、令和3年4月より赴任することになりました。後期レジデントの小川洋平と申します。大学時代は水泳部に所属しており、コロナが流行する前まではよく泳ぎに行っていました。コロナの影響で外出することが少なくなり、収



外科医師
おがわ ようへい
小川 洋平

はじめまして、2021年4月より泌尿器科で勤務させていただく平岡悠飛と申します。広島で生まれ育ち、岡山大学を卒業後は岡山医療センターで研修を行いました。香川で暮らすのは初めてで、新天地で新しいスタートが切れることをうれしく思っています。泌尿器科医としてはまだまだ未熟ですが、早く皆様に信頼される医師になれるよう、日々学んで努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



泌尿器科医師
ひらおか ゆうひ
平岡 悠飛

昨年からの新型コロナウイルスの大流行により、私たちの生活は一変しました。旅行やレジャーはもちろんのこと、仕事においても人と会うことが制限され、巣ごもり生活と呼ばれる生活様式が始まりました。結果的に活動量がへり、体重が増えています。患者さんが多いように思います。体重の増加は内臓脂肪の増加につながり、結果的に脂肪肝を促進することになってしまいます。最近では脂肪肝から肝硬変、肝臓癌になる患者さんが非常に増えていますので体重の増加には注意が必要です。外を出歩くことは難しい場合もあ

りませんが、早朝などの人が少ない時間を見計らって体を動かしてみようか？その際の注意点としては、激しい運動をする必要はありませんが、連続して20分以上運動を続けると脂肪が燃えませんが、20分以上継続できる運動がおすすめです。現在当院では面会制限などを行っていることから肝臓病教室も開催できていませんが、コロナが収束した際にはすぐに開催できる様に準備をしておりますので、また皆さんにお会いできる日を楽しみにしております。それまで少しずつ運動を続けながら、元気ですごしましょう！

肝臓病教室
コロナ禍における日常生活について
消化器内科部長 出口 章広



束したらジムやプールに行つて体を鍛えたいと思つております。もともと出身は鹿児島県の田舎の出身で、んびり過ごしてきたので、性格はのんびりしていると思ひますが、仕事の時はテキパキと患者様のために働いていきたいと思ひますので、宜しくお願い致します。



四季の植物
沈丁花(じんちょうげ)
ジンチョウゲ科・ジンチョウゲ属

西4病棟看護師・高橋希巳江
原産は中国、3~4月開花します。夏の梔子(クチナシ)、秋の金木犀(キンモクセイ)と共に、香りが良いことで有名な三大香木の一つです。花言葉は「栄光・勝利・永遠」など、12/15・2/10・2/23の誕生花です。

編集だより
患者サービスマン上委員
安川 芽衣

少しずつ日差しが暖かく感じられるようになってきました。今年の冬は皆様の新型コロナウイルス対策へのご協力により、例年ほどインフルエンザも流行しませんでした。つい外に出かけたくなる季節ですが、まだまだ気を引きしめていきましょう！

広報誌「いぶき」では、地域の皆様に親しまれるよう努力を重ねております。ご意見、ご要望、そしてご感想などお気軽にお寄せください。お待ちしております。